

菱田議員

説明資料







# 舟屋の散策 伊根浦地区散策MAP



**距離の目安**  
伊根町観光案内所から  
・伊根湾めぐり遊覧船のりば→大(徒歩)→約30分  
・道の駅舟屋の里伊根→大(徒歩)→約20分  
・伊根郵便局→大(徒歩)→約30分

**舟屋について**  
舟屋及び敷地は個人の所有物です。勝手に侵入することはできませんのでご理解ください。

**駐車場について**  
限られた台数ですが、所定の駐車場があります。こちらをご利用ください。(一部有料)

## 施設一覧

番号	施設名	電話(0772)
宿泊 1	舟屋の宿 あめや	32-0017
宿泊 2	舟屋の宿 あうら(平成30年5月オープン)	32-0067
宿泊 3	舟屋の宿 大平荘	32-0040
宿泊 4	舟屋の宿 汐の香	32-0118
宿泊 5	魚料理の宿 吉村屋	32-0062
宿泊 6	料理旅館 兵四様	32-0055
宿泊 7	WATER FRONT INN 与謝荘	32-0278
宿泊 8	伊根の舟屋 風雅	32-0280
宿泊 9	伊根の舟屋 雅	32-0280
宿泊 10	舟屋の宿 意忠	32-0532
宿泊 11	舟屋の宿 ながはま(平成30年6月オープン)	32-0206
宿泊 12	舟屋の宿 蔵	32-0815
宿泊 13	舟屋の宿 健屋	32-0356
宿泊 14	舟屋の宿 まるいち	32-0608
宿泊 15	舟屋の宿 おくの	32-0527
宿泊 16	舟屋の宿 たいせい	32-0026
遊覧船 A	伊根湾めぐり遊覧船	32-0009
飲食・お土産 B	いーわーお	
遠り酒屋 C	向井酒造	32-0003
台湾茶 D	青龍(ちんざお)	090-8528-3518
飲食 E	地魚料理 よしむら	32-0062
飲食 F	お食事処 兵四様	32-0055
飲食 G	舟屋食堂	32-0800
飲食 H	食事処・呑み処 なぎさ	32-0022
和菓子・喫茶 I	雅	32-0280
飲食 J	レストラン舟屋	32-0680
飲食 K	お食事処 油屋	32-0750
飲食 L	ラウンジ 舟屋	32-0680
お土産 M	お土産物店 伊根浦漁業	32-0685
飲食・お土産 N	なでしこ	
飲食 O	INE CAFE	32-1720
飲食 P	鮎割烹 海宮	32-1710
陶芸 Q	伊根工房	32-0071
遊覧船 R	海上タクシー 成洋丸	32-0230
遊覧船 S	海上タクシー 碧海丸	32-0111
遊覧船 T	海上タクシー 地島丸	32-0585
遊覧船 U	海上タクシー マリネ	090-6234-8984



## 交通のご案内

**お車で**

- 名古屋→名古屋東→[伊根JCT]→名神高速→[伊根JCT]→北陸道→[新井JCT]→新井バイパス→[伊根JCT]→伊根(所要時間約30分)
- 京都→[吉田JCT]→京都東→[伊根JCT]→北陸道→[伊根JCT]→伊根(所要時間約30分)
- 大宮→甲斐道→[伊根JCT]→新井バイパス→[伊根JCT]→伊根(所要時間約30分)
- 岡山→山陽道→[伊根JCT]→伊根(所要時間約30分)
- 伊根→伊根(所要時間約30分)
- 伊根→伊根(所要時間約30分)
- 伊根→伊根(所要時間約30分)
- 伊根→伊根(所要時間約30分)

**電車で**

- 伊根→伊根(所要時間約30分)
- 伊根→伊根(所要時間約30分)
- 伊根→伊根(所要時間約30分)
- 伊根→伊根(所要時間約30分)
- 伊根→伊根(所要時間約30分)
- 伊根→伊根(所要時間約30分)
- 伊根→伊根(所要時間約30分)
- 伊根→伊根(所要時間約30分)

## Inetown Sightseeing Map

# 伊根町 観光 マップ



海に浮かぶ舟屋の心地よさ  
「家か? 漁場か?」  
窓の下には旬の魚たち



お問い合わせは 伊根町観光協会 ☎0772-32-0277

〒26-0423 京都府与謝郡伊根町字平田 491  
http://ine-kankou.jp/



海の京都

# 竹原まちあるきMAP

## Takehara Walking Tour Map

かつて、製塩業や酒造業で栄えた竹原。現代の暮らしと歴史文化がバランスよく残り、歩けば歩くほど、竹原の新たな魅力を発見できる。あなたのお気に入りを探してみよう。

Takehara is a historic town that flourished as a center of salt and sake production in the Edo period. It boasts a well-balanced mix of historic and cultural heritage, and modern styles of living. Stroll the streets and explore the hidden charms of Takehara. Why not find your own favorites in the town?

至 湯坂温泉郷 (車で15分)  
山陽自動車道・河内IC (車で20分)  
広島空港 (車で25分)  
To: Yusaka Hot Spring Resort (15 min. by car)  
Kochi IC, Sanyo Expressway (20 min. by car)  
Hiroshima Airport (25 min. by car)



### 町並み保存地区

The Takehara Historic District

立派な屋敷や由緒あるお寺など昔ながらの情緒がたっぷり残る。Home to a number of splendid old residences and long-established temples, the district retains a great sense of history.

町並み保存地区は、歴史文化を残していきたいという思いを持った住民の方のおもてなしで成り立っています。生活している個人の方の迷惑にならないよう、ご配慮いただくと幸いです。  
The Takehara Historic District is supported by hospitable local residents who want to preserve its historic and cultural heritage. Visitors are kindly asked not to disturb individuals living in the community.

竹原市産業振興課観光振興係  
〒725-8666  
広島県竹原市中央5丁目6番28号  
TEL0846-22-7745  
FAX0846-22-1113  
<https://www.city.takehara.lg.jp/>  
Tourism Promotion Division,  
Industry Promotion Section, Takehara City  
5-6-28Chuo, Takehara City, Hiroshima 725-8666

(一社) 竹原市観光協会  
〒725-0026  
広島県竹原市中央1丁目1番10号  
TEL0846-22-4331  
FAX0846-22-5065  
<https://www.takeharakankou.jp/>  
Takehara Tourism Association  
1-1-10 Chuo, Takehara City, Hiroshima 725-0026

たけはら海の駅  
竹原港 (大崎上島行)  
Takehara Sea Station  
Takehara Port (to Osakamijima Island)

至 大久野島・黒滝山  
竹原港・たけはら海駅 (車で5分)  
今井政之展示館 (車で10分)  
バンブー総合公園 (車で10分)  
かくや姫美術館・忠海港 (車で15分)  
To: Okunoshima, Mt. Kurotaki  
Takehara Port/Takehara Sea Station (5 min. by car)  
Potter Masayuki Imai's Exhibition Hall (10 min. by car)  
Bamboo Park (10 min. by car)  
Museum of Princess Kaguya/Tadanomi Port (15 min. by car)

A たけはら町並み保存地区MAP



④相葉君：手裏

⑥二宮君：よくできてんなあこれ

④宮君：新しい時代楽しみだね

②幸せゲット

②幸せのハート

①桜井君：明治に建てられた

③松本君：良い風吹いて来たなあ  
& 当時の人いたりして

③5人で写真

積町市営駐車場  
20台(1時間100円)

新町市営駐車場  
46台(1時間100円)

- 駐車場
- 郵便局
- レストラン
- 病院
- 警察署
- 喫茶飲食
- 消防署
- 港・桟橋
- おみやげ
- フォトスポット
- ギャラリー

【お願い】  
町並み保存地区は、個人所有の家々から成り立っています。  
生活している住民の方の迷惑にならないよう、ご配慮ください。

# 亀岡市民憲章

京都から西へ、老ノ坂を越えれば朝霧の晴れ間に亀岡盆地が広がる。豊潤な水脈は、田園や里山に多彩な実りをもたらし、舟運を支えてきた保津川は、いまでも溪流の舟下りで賑わっている。

古来、人びとは自然との調和やお互いの絆、家族のぬくもりを大切にしながら暮らしてきた。そこには石門心学が生まれ、円山応挙の芸術が育まれた。城下町のたたずまいを色濃くとどめ、華麗な山鉾が巡り、地域に根ざした芸能が息づいている。

そんな亀岡に生きるわたくしたち市民は、こうした平安の営みを未来につなぐことを願って、市民憲章を掲げます。

- 一 水と緑の恵みを大切にし、豊かな環境を次代に引き継ぐまちをつくります
- 一 いのちを尊重し、共に輝き、心の通いあう家族とまちをつくります
- 一 健やかな心とからだを育て、安らぎのあるまちをつくります
- 一 互いにまなび、高めた力を活かす生涯学習のまちをつくります
- 一 歴史と伝統を生かし、先人の知恵が香る文化のまちをつくります
- 一 世界にはばたく、豊かな感性と英知を育むまちをつくります
- 一 一人ひとりが主役となって、共に生き、ともに支え、平和と人権の根づくまちをつくります

# まちづくり憲章

## ◆はじめに

亀岡旧城下町地区は、丹波亀山城の城下町として発展してきました。地割や掘割が今に残り、街道筋には妻入や平入町家が点在し、惣構に沿って社寺が複数立ち並ぶ、城下町の面影が色濃く残っています。明治時代になると、丹波地域の中心的な地域として、官公庁等が所在し、それに伴って亀岡市内屈指の市街地として発展してきました。亀岡祭山鉾行事や地蔵盆などの伝統行事が行われ、地域コミュニティが維持されています。

## ◆城下町らしさを大切にしたいまちづくり

亀岡市が実施した令和4・5年度伝統的建造物群保存対策調査の結果、旧城下町地区には、江戸時代からの町家や地割（敷地を区分する水路跡）が現存し、貴重な価値があるとわかりました。また、亀岡祭や地蔵盆など伝統行事も毎年執り行われ、地域コミュニティの維持向上につながっています。これらの歴史や文化、まちの伝統が色濃く残る点は、当該地域の財産であり活用すべき資源と捉えることができます。これらの地域の資源を活用し、魅力あるまちづくりに向けて取り組んでいきます。

## ◆まちづくりのイメージの共有化

住民にとってよりよいまちづくりを進めていくには、住民が地域の資源や実情を知っているとともに、めざすまちの姿を共有し、我がこととして認識していくことが大切です。

地域には、年齢や性別をはじめ、様々な背景をもった多様な価値観を持つ人々が住んでいます。そのため、めざすまちの姿とその実現に向けて取り組むべき内容をわかりやすく表したものが共通認識のツールとして必要です。そこで、「まちづくり憲章」を作成し共通の理解を図ります。

## まちづくり憲章について

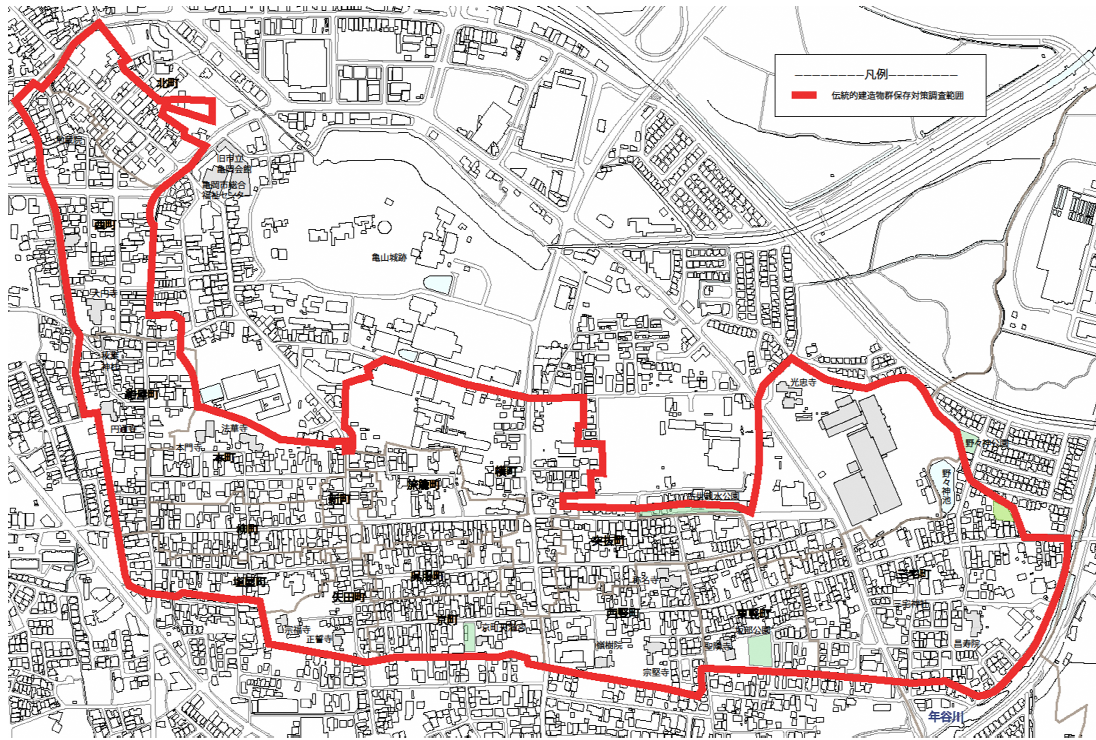
まちづくり憲章は、旧城下町地区内に所在する地域の資源を活用して、丹波亀山の城下町らしさのあるまちづくりを行っていく際の、めざすまちの姿とその実現に向けた取組事項を書き出したものです。

取組事項は、住民一人一人が取り組むこと、自治会などの地域コミュニティが取り組むことが混在しますが、その一つ一つがめざすまちの姿の実現にどうつながるのかを表しています。

また、取組事項の結果について、その効果を評価し、その都度見直し、城下町らしさを大切にしたいまちづくりを発展させていくものとします。

みなさま一人一人の御理解と御協力をお願いします。

## ◆対象範囲



### ◆これまでの経緯（駅南構想の策定～協議会の設置）

令和2年3月に「亀岡駅南周辺まちなみ・まちづくり構想」が策定され、その中で、城下町らしさを大切にしたいまちづくりについて提案されました。それを受けて、現在の協議会メンバーが中心となって、まちづくり勉強会を始めました。その後、勉強会から検討会へと発展し、検討会の構成メンバーから核となってまちづくりの方向性を議論する代表者を選出し、代表者会議において議論を進めてきました。

令和5年に「京都亀岡城下町」まちなみ・まちづくり協議会<sup>1</sup>が発足してからは、代表者が幹事となり、幹事会でロジックモデル<sup>2</sup>の手法を取り入れて城下町らしさを大切にしたいまちづくりの具体的な方策について検討しています。まずは、先行事例の地域等を参考に、「まちづくり憲章」を作成し、住民の合意形成を図って、城下町らしさを大切にしたいまちづくりに取り組んでいきます。

#### 1 「京都亀岡城下町」まちなみ・まちづくり協議会とは

令和5年7月14日に発足した、主に旧城下町地区の城下町らしさを大切にしたいまちづくりについて話し合う協議会です。亀岡地区東部自治会・亀岡地区中部自治会、亀岡祭山鉾連合会の役員をはじめ、町家所有者、まちづくりに興味関心のある人から構成されています。

#### 2 ロジックモデルとは

論理整理の手法の一つで、ある施策がその目的を達成するに至るまでの論理的な因果関係を明示したものです。令和6年度幹事会において「丹波亀山城下町らしさのあるまち」を最終的な達成目的と設定し、これまでの勉強会・検討会・代表者会議・協議会における城下町まちづくりの意見を洗い出し、論理整理の作業を行いました。

編集・発行「京都亀岡城下町」まちなみ・まちづくり協議会  
亀岡市まちづくり推進部都市計画課  
2025年9月5日

# まちづくり憲章

「京都亀岡の城下町らしさを大切に作るまち」づくりは、地域の文化資源を活用し、次の5つのまちの姿の実現に取り組みます。

## 主な文化資源

妻入・平入町家

地蔵盆

惣構

会議所・鉾蔵

亀岡祭

亀岡祭山鉾連合会

各山鉾保存会

町名・通りの名称

地割・堀割

亀山城跡

京町天満宮・親水公園

美化化道路

地元の清掃活動

東部自治会・中部自治会

各町自治会

地域の行事・イベント

通り沿いの塀・前庭

町家等のまちなみ

「京都亀岡城下町」まちなみ・まちづくり協議会

## 一 歴史的資産や文化財に愛着を持ち、これらを守り伝えるまち

住民がまちの文化や文化財・町家等の価値をよく知っていて、次代に伝えていく意識が高く、自分のまちを誇りに思っている人が多い。

## 一 城下町の誇りである亀岡祭・山鉾行事を継承するまち

亀岡祭に担い手として参加する人、亀岡祭を見に来る観光客が増える。

## 一 城下町という魅力で人を惹きつけるまち

城下町だと視覚的にわかる場所があり、城下町散策を楽しんだり、亀山城の歴史について詳しく学習したりできる。

## 一 地域のにぎわいや人とのつながりを大切にするまち

住民同士に顔の見える関係があり、旧城下町地区内を歩く人が増え、人が集まる場所や機会が充実している。

## 一 城下町の風情と人々の暮らし方との調和に配慮したまちなみのあるまち

空が大きく開いた城下町らしい統一感のあるまちなみがある。

## 取組事項

- ・文化財の情報発信を行う
- ・妻入・平入町家等を保存活用する
- ・惣構（亀岡市指定文化財）を保存活用する
- ・地域の伝統行事（地蔵盆等）へ参加する

- ・亀岡祭に積極的に参画する
- ・山鉾保存会の活動に参画する
- ・城下町風情の中で行事が行われるように道路環境を整える

- ・城下町由来の町名・堀割・地割を大切にする
- ・城下町を感じるまちなみを形成する
- ・亀山城や城下町について学習する機会をつくる

- ・自治会活動を維持向上させる
- ・京都サンガF.C.の応援で地域のつながりを強化する
- ・通りを美しく保つ（ゴミなし・花や緑が感じられる）
- ・亀山城郭の面影が残る公園を大切にする
- ・商店街で積極的に買い物をする
- ・地域コミュニティ（自治会等）が開催する行事・イベントを充実させる

- ・建物の外観を城下町らしく整える仕組みをつくる
- ・城下町らしい景観づくりについて住民の合意形成を図る（常に情報共有）
- ・町家等の伝統的建造物の保存活用を住民の手で行う
- ・無電柱化を検討する